

中米・カリブ地域における衛生の事例研究： シャーガス病対策



第51回 ラテン・アメリカ政経学会 2014年11月15日 於神戸大学

元JICA専門家 橋本謙



目次

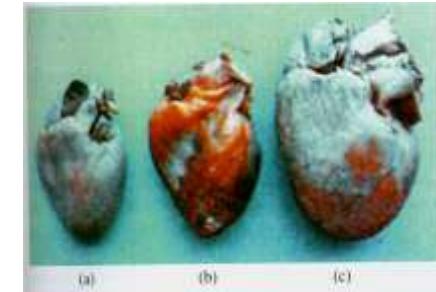
1. シャーガス病と対策
2. プロジェクトの成果
3. 援助戦略



シャーガス病

- 症状

- 急性期: 6~8週間 ほぼ無症状(発熱、腫れ)
- 慢性期: 約5~20年後 心筋症、巨大消化管症



FOCRUZ 2013

- 疫学

- 感染者800万人、リスク人口1億900万人
- 66万DALYs(デング熱の10倍)



WHO 2010

- 診断・治療・感染

- 血清診断、抗原虫薬、ワクチンなし
- 媒介虫サシガメ(80%の感染)、人畜共通



*Trypanosoma
cruzi*

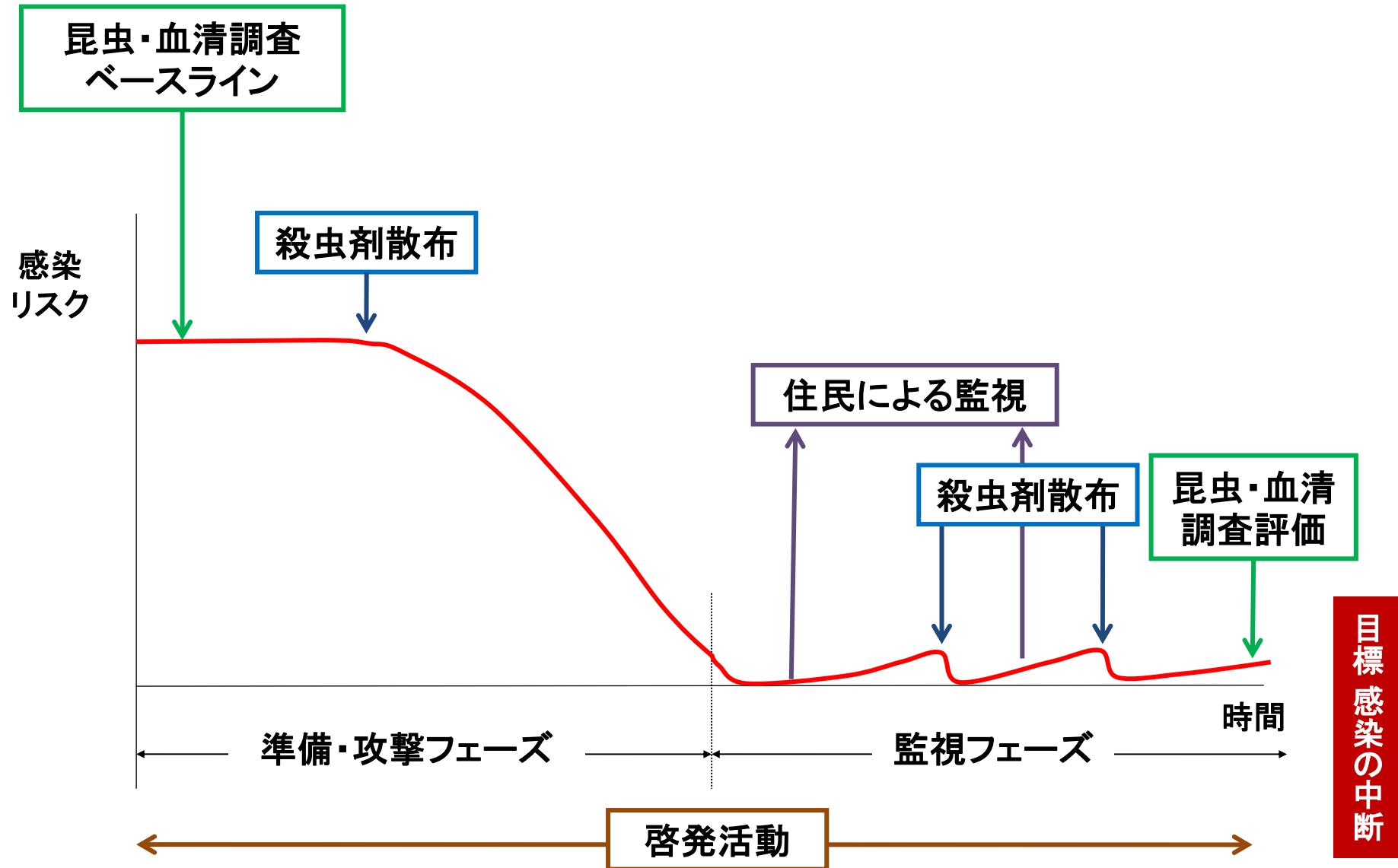


*Rhodnius
prolixus*



*Triatoma
dimidiata*

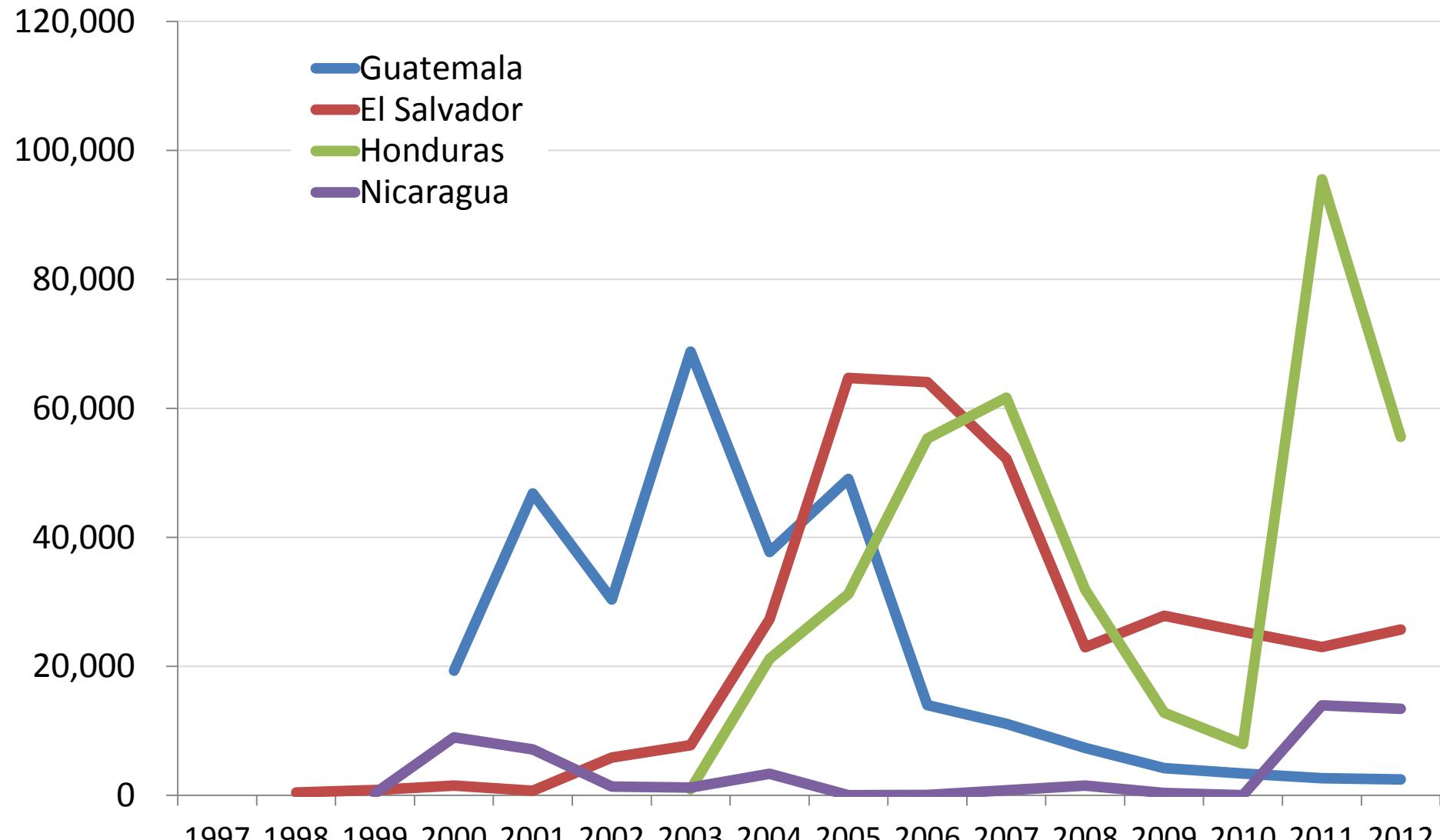
シャーガス病媒介虫対策の戦略







年間殺虫剤撒布家屋数



Source: Ministry of Health, Guatemala, El Salvador, Honduras and Nicaragua

媒介虫と感染者数の減少

- サシガメの減少と消滅

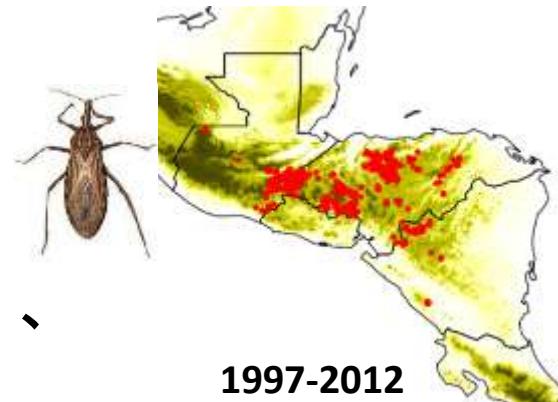
- *R. prolixus*種による感染の中止:

- グアテマラ(2008)、ホンジュラス(2011)、ニカラグア(2011)

- *R. prolixus*種の消滅:

- エルサルバドル(2010)

- *T. dimidiata*種の減少

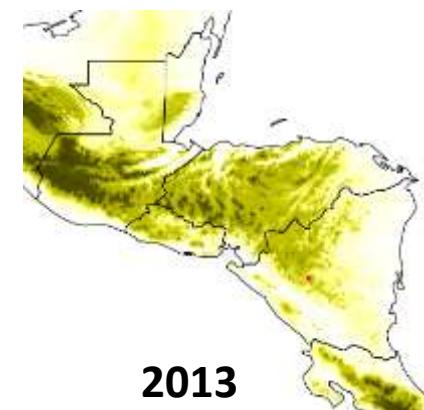


1997-2012

- 中米の感染者数の減少(2000年vs.2010年)

- 推定患者数: 177万人 → 39万人

- 年間新規感染者数: 6万人 → 4千人

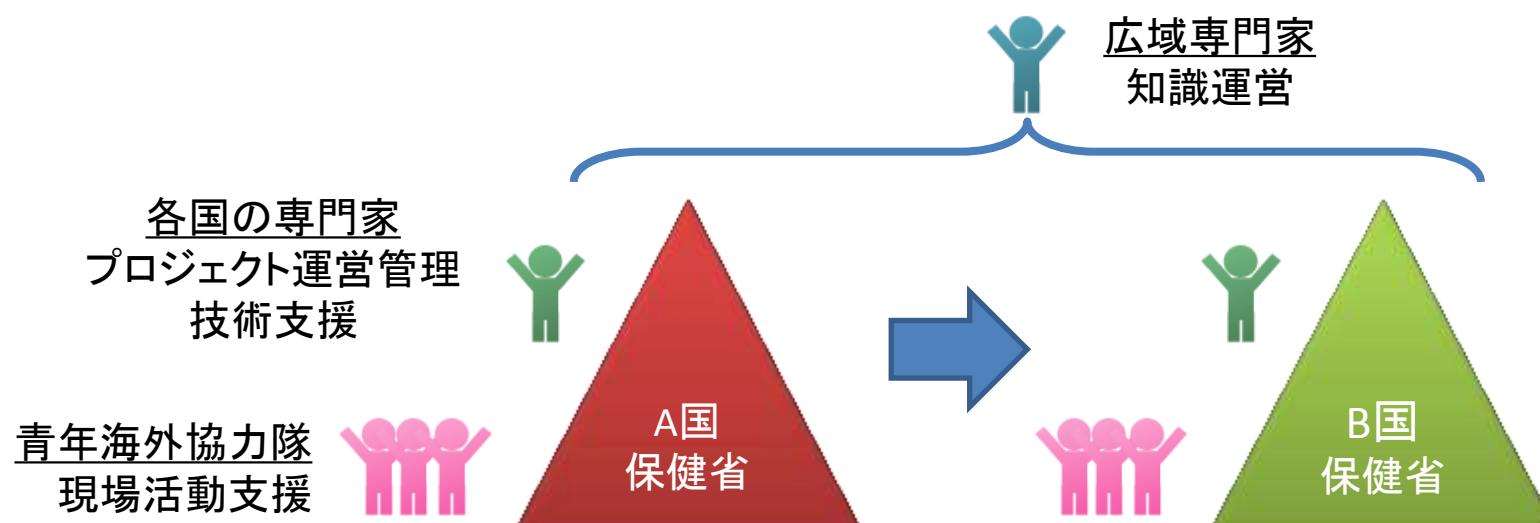


2013

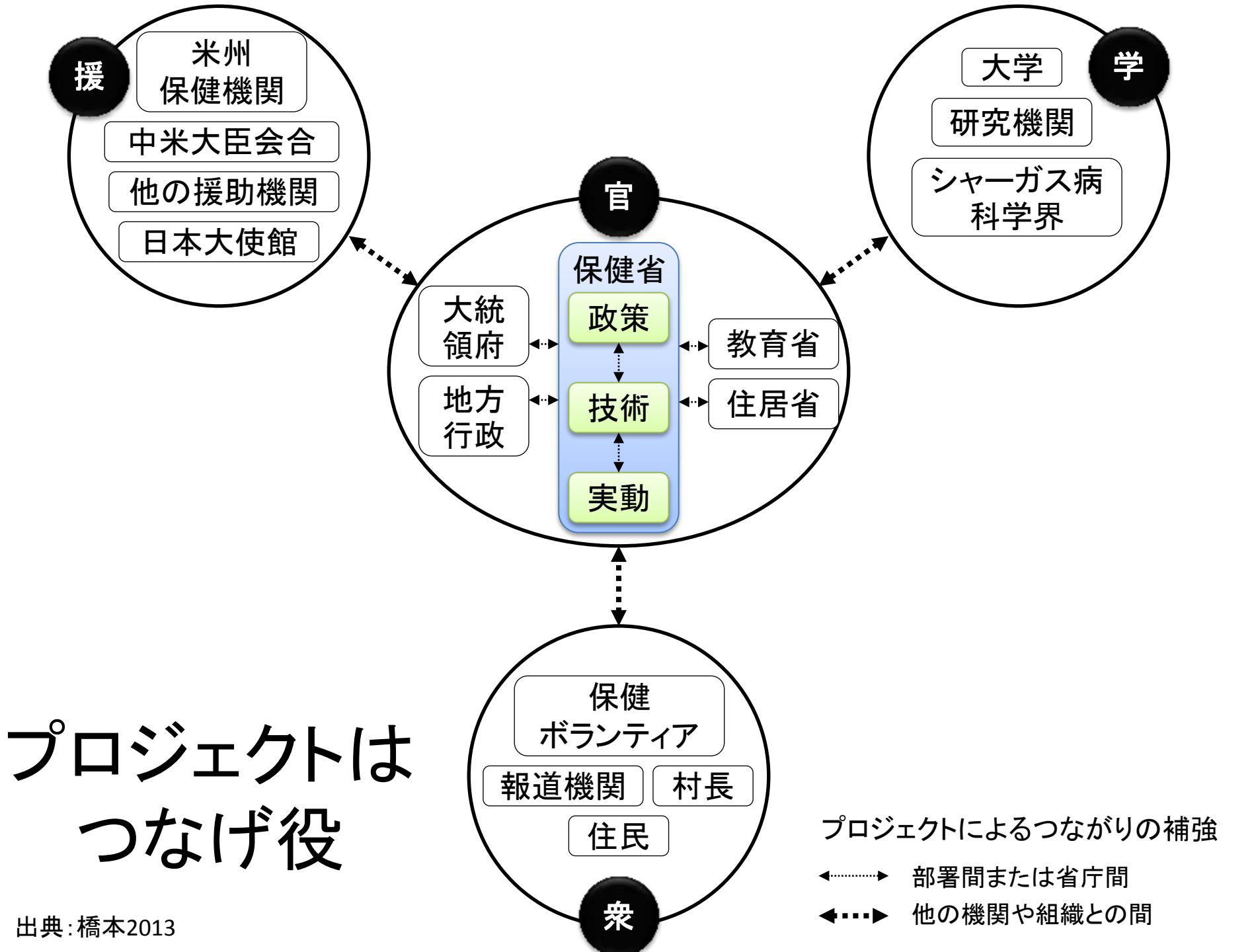
3. 援助戦略

プロジェクトの展開と投入

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
グアテマラ															
	準備・攻撃フェーズ														監視フェーズ
ホンジュラス															監視フェーズ
エルサルバドル															監視フェーズ
ニカラグア															攻撃・監視フェーズ
中米広域															知識運営



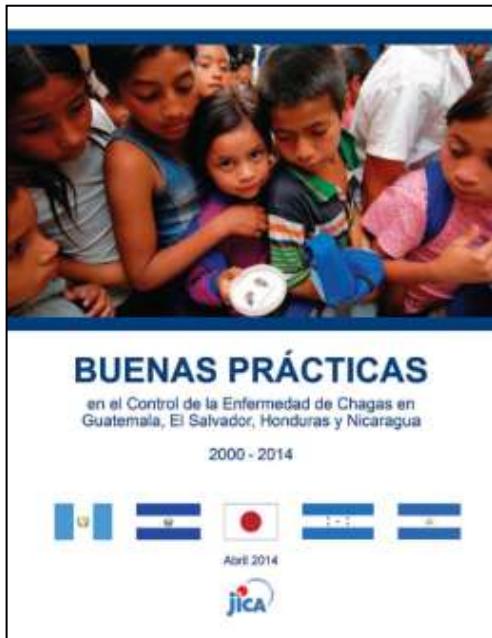
他のJICAの投入：殺虫剤、散布器、車両、血清検査キット、研修、教材など



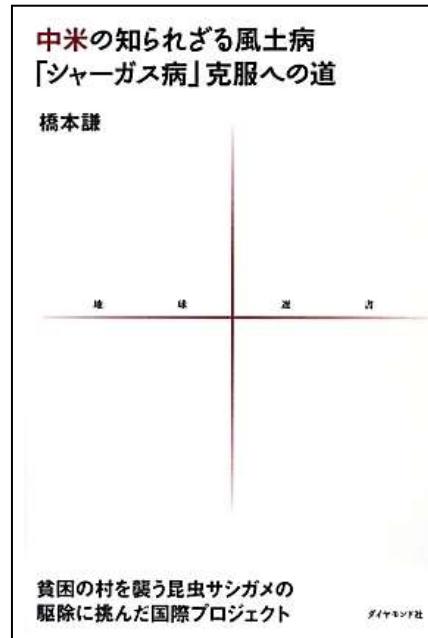
援助戦略の要点

- プロジェクトの枠組みと展開
 - 既存の広域プラットフォームの活用
 - 國際アジェンダ：中米イニシアチブ、シャーガス病科学界
 - 小さく生んで大きく育てる
 - パイロット県→国内他県→広域展開
- 包括的保健システム強化
 - 技術の支援+受け皿づくり
 - 安定した政策、効率的な仕組み、学べる環境と雰囲気
 - 異なる視点から仕組みと取組みを補強する
 - 虫・鳥・魚の目、多様な日本チーム・現地組織

ありがとうございました



西語版+英語要約版
2014



プロジェクトヒストリー
2013

プロジェクト・ミュージアム

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/ProjectHistory/ChagasDisease/ChagasDisease-p.html>